

昭和二十年五月二十五日立案

書記官長

主筆

書記官

軍需省官制中改正ノ件審査報告

(別紙ノ通リ)

机
寧
院

相當考慮ラ要スル所ナガガ地方戰局之推移ニ鑑シ此
政ヲ加フルノ現狀ニ在リテ其ノ機關ヲ簡素化スルハ
保ノ任務ヲ擔當シ然モ軍事行政ノ內容愈々複雜シ
スルニ解軍省ニ於テハ専門之監數ナニ解軍生產確

備ニ任務カラ擔當シ然モ軍事行政ノ內容愈々複雜シ
斯デ今向御諮詢ノ軍事行政ノ制改正ノ件ヲ審査

御審査會事務官改正ノ件審査報告書

ノ際地方軍需整理部等地方ニ於ケル軍需行政ノ機構
ヲ備ノ限り充實強化スルノ必要ナルコト亦信ヲ俟タズ
ノ旨ノ件

同省

乃テ今回本件ヲ以テ軍需省官制中ニ改正ヲ加シ中央事務

ヲ極力地方機關ニ委譲スルト共ニ事務處理、敏活ヲ圖

（本省ノ官制改定ニ依リ）

ル趣旨ヲ以テ省内機構ノ改組及職員定員ノ縮減ヲ行

カシトス

カシトス

今本審、專旨ヲ添バ次ノ如シ

「外局タル企業整備本部ヲ廢止スル爲軍需大臣ノ管理
事務中ニ他省ノ所管ニ屬スル以外ノ企業整備ノ統轄
及金屬類ノ回収ニ關スル事項ヲ加フ（第一）
（第二）

（二）從前軍需省ニ於テハ大臣官房ノ外ノ總局八局ヲ置キタ
ルが今回整備、管理、及石炭ノ三局ヲ新設スルト共ニ輕

金屬局ヲ廢止シ非鐵金屬局ヲ礦山局ト改稱シ從前航
空機器總局ニ於テハ長官官房、外ニ總務、第1乃至
第4ノ五局ヲ置キタルヲ總務、兵器、資材及經理、日
局トシ又局中局務ヲ分掌スル爲設ケタルハ之ヲ
廢止ス(第2) (新設) (新設)

(三)大臣官房所掌事務中ニ從前總動員局ニ於テ同掌セ
ル重要政策、企畫及審議一般並ニ所管行政、考
査、一般ニ關スル事務ヲ加ノ整備局ニ於テハ概不企業
整備本部ノ所掌事務並ニ從前總動員局ノ所掌事
務タバ所管企業ニ於ケル資金調整、所管防衛業務
ノ總務及土木建築事業ニ關スル事項ヲ管理局ニ於
テハ同シク總動員局所掌事務中ノ所管物資、價

機密文書

各ノ部、前管企業ニ於ケル勧勞並理、貢金及經理統
制ニ觸スル事項ヲ、石炭局ニ於テハ從前燃料局所掌
事務中石炭、亞炭、ガス及コークスニ觸スル事項ヲ夫々
司掌セシム。金屬物の所掌事務ハシラ航空兵器總

(ムニコートン)

局ノ移管スルモノトス(第1章第12、第3條乃至第
9條第9條及第10條)
(付ヒ節事ヲ産ヒシ)

(貯)部ノ廢止及地方鐵山局ノ移換ノ爲~~鐵~~事、軍需品、軍

軍需記帳、軍需事務官、軍需技官、軍需官、軍需

及軍需技手ノ定員ニ於テ各都干人ヲ減少ス(第14條
第17條)

(第十九條(及
二十條)

(五)企業整備本部ノ制ハシテ廢止スルト共ニ同本部職員

關スル經濟的規定ヲ設ケ軍需省部長及企業取

備本部曰收即ハ廢止ハシテ之が任用、初級官等

官等

開スル規定 = 所要ノ改正ヲ加フ (別付)

按ズハニ本件、戰局ノ推移ニ即應セシメンガ爲軍

需省ニ於テ部局ノ廢合及職員ノ移換ヲ爲サントスレ

モノニテテノハニ又障ノ席ナヤ一由リ此ノ儘ノヲ可
能キナシ又ハ得キナシ其ノ他

次セラレ然ハシテ田ノ料ス

大謹ニ審省ノ結果ヲ報告ス

昭和二十年五月二十九日

書記官長

議長兒

軍需省令第廿一改正、其審査報告
體テ今、回轉諮詢、解體並官制廿改正、其審査
スルニ軍需省ニ於テハ、舊例ノ統數ナニ解體生産確
保、任務ヲ擔當シ、然モ軍需行政ノ内容愈々複雜
政ヲ加フル、現狀ニ在リテ其ノ幾種ヲ簡素化スル
相當考慮、ヲ要スル所ナルガ、地方戰局ノ推移ニ鑑ミ此

除地方軍需部等地方於ケル軍需行政ノ機構

ヲ能メ限リ充實強化スルノ必至ナルコトホ言ラ候タズ

同省

乃テ今回事件ヲ以テ軍需省官事ナニ改正ヲ加^(中)中央事務

ヲ極力地方機關ニ委託スルト共ニ事務處理ノ敏活ヲ圖

本省新官制改正依リ

ル趣旨ヲ以テ省内機構ノ改組及職員定員ノ縮減ヲ行

ハニス
カニシテ参ナトス

今本年ノ舊旨ヲ並ブレバ次ノヤシ

(一)外局タル企業整備本部ヲ廢止スル為軍需大臣ノ管理

事務事他省ノ所管ニ屬スル以外ノ企業整備ノ統轄

及金屬類ノ回収ニ關スル事項ヲ加^(中) (一) (二)

(二)從前軍需省於太政官房ノ外總局八局ヲ置キタ

ルガ今回整備、管理及石炭ノ三局ヲ新設スルト共ニ輕

金融局ヲ廢止シ非鐵金屬局ヲ礦山局ト改稱シ從前航

空兵器總局ニ於テハ長官官房、外ニ總務、第1乃至

第4ノ五局ヲ置キタルヲ總務、兵器、資材及經理、日

向トシ又局中向務ヲ分掌スル爲設ケタル部ハ之ヲ

廢止ス(第3項
新設、三局二件)

(三)大臣官房所掌事務中ニ從前總動員局ニ於テ司掌セ

ル重要政策、企畫及審議一般並ニ所掌行政、考

(新設、三局二件)

查一般ニ關スル事務ヲ加フ整備局ニ於テハ概不企業

整備本部ノ所掌事務並ニ從前總動員局ノ所掌事

務タル所管企業ニ於ケル資金調整、所管所商業務

、織物及土木建築事業ニ關スル事項ヲ管理局ニ於

テハ同ジク總動員局所掌事務并ノ所管物資、價

格 1 級、並其企業ニ於ケル勸業局、課金及經理統

制ニ關スル事項ヲ、石炭局ニ於テハ從前燃料局所掌

事務中石炭、亞炭、ガス及コークスニ關スル華埠ヲ夫々

(ムニカーナ)

同華セシ(華)金屬局(金屬)同華華務局(華)航空

局ノ移管スルモノトス(日華第ニ、第三條乃至第
二十條)

(二律ヒタルモニテ、
金屬局(金屬)同華華務局(華)航空

金屬局(金屬)同華華務局(華)航空

金屬局(金屬)同華華務局(華)航空

百

華埠記(華埠)同華華務局(華)航空

及華埠技手ノ定員ニ於テ各華埠手ノ概々ス(華第十七
條)

(第十九條)

(五) 企業整備本部ニ於テハ廢止スルト共ニ同本部廢止

11 開ス「經濟規範」ヲ設于華埠省營及企業整

備本部(即ハ該局)之が任用、初設即第廿一年

開スル規定ニ所要ノ改正ヲ加フ(附)

按ズルニ本件ハ戰局ノ推移ニ即應セシメンガ爲軍

郵省ニ於テ郵局ノ廢合及職員ノ移換ヲ爲サントスル
モソニシテ(ノ)ニ支障ノ麻チキニ由リ此ノ儘之ヲ可
シ能キナツキ事ハ御免キモハ鴻毛其ノ他
次セシムテ然ニシト四へ料ス

右書ニ寄査ノ結果ヲ報告ス

昭和二十年五月二十二日

書記官長

義長究

六

地方總監府官制外二件審查報告

昭和二十年六月五日

委員長

清水副議長

委員員

窪田顧問官

委員員

茶良顧問官

三土顧問官

百武顧問官